

がん治療と仕事の 両立支援セミナー

in 岩手

主催：NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク 共催：岩手県

事業主・人事部門担当者・管理職・産業保健スタッフのみなさまへ

労働施策総合推進法の改正により、事業主に対して、職場における「治療と仕事の両立支援の推進」が努力義務化されました(2026年4月より)。会社の誰かが「がん」と診断されたら、まず、どう動きますか？ 限られた人材で事業を続けていくために、「わが社ができる、はじめの一步」をご一緒に考えましょう。

2026年

11/12 (木) 13:30-16:00
〈開場 12:30〉

会場：盛岡地域交流センター(マリオス) 181 会議室

事前
申込制

- 締め切り 11月5日(木)
- 定員20社/1社から2~3名でご参加ください
- 参加費無料 定員に達し次第締め切らせていただきます

◆ お申込みは FAX でも受け付けます。お名前・メールアドレス・企業名を記載のうえ、FAX 019-626-0837 までお送りください。ご質問もご自由にどうぞ。FAX 番号のお間違えにご注意ください。
(岩手県保健福祉部医療政策室)



お申し込みは
こちらから

医療の進歩により、がん診断後も仕事を続けられる人が増えています。病気になっても働きやすい職場づくりは会社の課題ですが、「わが社の場合、具体的にどう取り組めば？」という声もよく聴かれます。本セミナーでは専門家の講義に続いて実際の困りごとを共有し、現実的な取り組みについて現場目線で話し合います。がん以外の私傷病の対応にも役立つ内容です。ぜひご参加ください。

※当日は参考資料の展示もあります。

後援／岩手労働基準協会、岩手県商工会議所連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手県対がん協会、岩手産業保健総合支援センター、岩手県医師会、岩手日報社

※本セミナーは、公益財団法人和証券財団の助成を受けて開催します。



◆ 総合司会

堀内 玲子 山梨県がん患者サポートセンター・ピアサポーター
NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク理事

第1部 講演



講演① 「治療と就業の両立支援」に関する最近の動き」



高橋 都 NPO 法人日本がんサバイバーシップネットワーク代表理事
岩手医大客員教授

岩手県出身。内科医。

2013～2020年に国立がん研究センターがんサバイバーシップ支援部長として、がん治療と仕事の両立支援の研究と情報発信に従事。同時期、がん治療を受けながら働く夫を家族として支えた。

講演② 「社会保険労務士に寄せられる企業の困難」



三輪 公二 三輪社労士オフィス
宮城産業保健総合支援センター産業保健相談員

特定社会保険労務士。三輪社労士オフィス代表。

宮城県内の病院で、がん患者等の就労支援に携わっている。宮城産業保健総合支援センターのメンタルヘルス対策・両立支援促進員、産業保健相談員として、医療機関や職場における治療と仕事の両立支援に取り組む。相談者に寄り添う支援を大切にしている。

第2部 会社ごとのふりかえり～普段からの現場の困りごとや疑問点を話し合います

● ● ● 休憩（10分） ● ● ●



第3部 『はじめの一步』に向けた話し合いと質疑応答



自社でまずやってみる現実的な取り組みを考え、共有します。

第1部の講演者と地元の専門家による質疑応答の時間を十分とります。



◆ コメンテーター

田鎖 愛理 岩手医科大学医学部総合診療医学講座 講師
岩手産業保健総合支援センター産業保健相談員